

中期経営計画の共有、 出来ていますか？

上原会計事務所

松本市島立 1095 番地 1 デザインセンタービル 2F

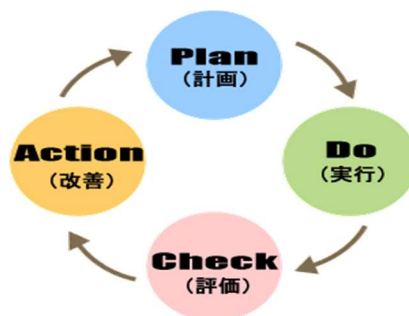
Tel 0263-88-2514 Fax 0263-88-2516

会社がこれから進もうとする方向性は
全社員で共有出来ているでしょうか！？

「従業員から発案や意見が全く上がってこない。」社長や幹部が愚痴をこぼします。。

将来の最適化を目指して【今】を変えていくことはいつの時代であっても経営に必要な原理です。3～5年後を見据えて中期経営計画を立て、自社のあるべき姿と方向性をはっきりさせ、全社（全員）のベクトルを合わせて将来像に近づけていきます。

ですが、どんな優れた経営戦略も、社員が実施しなければ絵に描いた餅でしかありません。



まずしっかりと社内コミュニケーションを取りましょう。社長が方針や目標数値を示す際には、なぜこれをやるのかという現場が納得できる「目的」の説明をし、現場からの意見も聞くことで、ようやく考えの方向は一致してきます。

「社員による経営計画策定プロジェクトの実施」なども主体性を育てる方法です。

また、戦略課題に挑戦し実績を上げた社員には相応しい評価をする適切な仕組みが必要です。現場を見ている気になっている、そもそも現場にいない、等の自分が見える範囲でしか評価をしていないうちは社員の能力向上どころか人材流出もやむを得ないでしょう。

これからの時代、経営スタイルは社員1人ひとりが持つ知恵やアイデアをいかにまとめ上げ、会社の戦略に盛り込み活かしていくかが重要になってくる「知恵の総力戦」と言われています。

質の高い発想と積極的な行動を取ることが出来る社員を育てていくためにも、中期経営計画をコミュニケーションツールとして用いてみてはいかがでしょうか？

当社では従業員様を対象とした経営知識の勉強会講師サービスも行っております。簡単な事例を用いて分かりやすいとご好評いただいておりますので、ご興味をお持ちの方はぜひ当事務所までお問合せください。